

かみふらの

こうほう

2

2012 NO.633



題名『冬を楽しく』～岡崎光良さん(新町3丁目)の作品

- 訓練 十勝岳噴火総合防災訓練～2月24日(金)に実施～
- 防災 災害に備え地域で取り組みを「自主防災組織」
- 福祉 災害から守る要援護者支援制度がスタートしました
- 地域 住民会長懇談会での主な意見と回答
- 郷土館 平成23年かみふらの10大ニュース決定
- 消防 平成23年の火災と救急出動件数

『もしものとき』に備えて…

十勝岳噴火総合防災訓練の実施

十勝岳噴火総合防災訓練を実施します
いざというときに対応できるよう、ぜひご参加ください

▽2月24日(金)に訓練実施

十勝岳噴火による融雪型火山泥流災害を想定し、十勝岳噴火総合防災訓練を行います。いざというときに対応できるよう、ぜひご参加ください。

日時 2月24日(金) 14時10分～

内容

- 避難訓練
 - 自衛隊、警察、消防による救急訓練
- や地域の巡回訓練を実施します。

▽避難訓練

避難指示は、14時10分頃に防災行政無線放送で発令します。
十勝岳の火山活動を想定し、避難指



示発令を行います。防災行政無線放送のサイレン・放送により、各指定避難所まで避難してください。

サイレンが鳴りますが、火災と間違えないようご注意ください。

避難対象地区

日新、草分、日の出、北町、泉町、扇町、栄町、中町、錦町、富町の一部です。

避難対象地区や指定避難所などについて各対象住民会に事前にお知らせします。ご不明な点は、お問合せください。

▽自主防災組織との連携

上富良野町地域防災計画では、自主防災組織を重要な役割を担う組織とし

て位置づけ、各住民会単位での結成とその活動の奨励をしています。

大きな災害が発生した場合、消防、警察、町など防災関係機関だけでは対応が困難です。そのようなときに自主防災組織を中心とした自主的な救出・救護などの行動が重要になってきます。

そのためには、日ごろからの連携や訓練を積み重ねておくことが必要で、今回も次の項目について連携を図りながら実施します。

- 避難所の開設
 - 避難所の受け入れ
 - 避難者確認、整理誘導
 - 未避難者情報などの収集など
- 自主防災組織で、腕章やユニホームなどがある場合は、着用してご参加ください。

町では、自主防災組織の活動への支援のための施策を実施しています。内容については、各住民会長を通じて周知します。

▽日頃から確認を

- 防災行政無線個別受信機の電源や電池を確認しておきましょう。
- 避難場所や避難ルートを事前に確認しておきましょう。
- 非常食や医薬品、懐中電灯、ラジオなど、防災グッズを確認しましょう。

▽問合せ

十勝岳噴火総合防災訓練について、また日頃の防災対策など、不明の点があれば、お気軽にお問合せください。

総務課基地調整室
☎6980

災害に備えて地域で取り組みを

自主防災組織について

災害が起きたときに迅速な支援を行うためには自主防災組織の活動が重要です。自主防災組織の活動にご理解とご協力をお願いします。

●自主防災組織の必要性

大規模な災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは、十分な対応ができない可能性があります。このようなとき、住民が一致協力し、地域ぐるみで取り組むことで有効な対策を行うことができます。

阪神淡路大震災では、救出された人の7割が近所の方々により救出されたという報告があり、自主的な住民組織の有効性が改めて認識されています。

●災害とは

上富良野町で想定される災害は次のものが挙げられます。

- 十勝岳噴火による泥流
- 地震

- 山火事などの火災
- 風水災害(台風・集中豪雨・洪水・竜巻・豪雪など)
- 土砂災害(土石流・がけ崩れ・地すべり)

●災害被害を軽減する方法

一般に災害被害の軽減は「自助・共助・公助」の効率的な組み合わせで実現できます。

- 自助：共助：公助＝7：2：1
- 自助「自分の身は自分で守る」という備えが必要です。
- 共助 地域で協力して被災した人を助ける必要があります。日頃から町内会、住民会単位で協力できる態勢を作ることが重要です。
- 公助 国や地方公共団体が災害支援を担います。

●自主防災組織の主な活動

自主防災組織の主な活動には次のよ

うなものがあります。

- 平常時
防災資器材の整備、備蓄品の管理、地域の危険箇所の把握、消火訓練、救急訓練、給食給水訓練、防災講演会の開催、要援護者及び支援者の名簿作成
- 非常時
被害情報・救援情報の収集と伝達、防災機関との連絡、消火器などによる消火活動、住民を避難所へ誘導、住民の安否確認、負傷者の救出救護、介助が必要な人への手助け、食料・水などの調達と炊き出し、救援物資の受領と分配

●災害時要援護者の情報

災害時に迅速に要援護者の支援を行うためには、要援護者の情報を共有する必要があります。そのためには要援護者及び支援者の名簿や地図を作成し、これらの情報を共有することが必要です。

町では、災害時要援護者支援制度がスタートしています。

●避難勧告・指示、警戒区域

災害が発生したときには、災害対策基本法に基づいて避難勧告、避難指示が発令されます。

また、警戒区域が設定されている場合、住民の立入を制限し、その区域の中に人に対し退去を命じることができません。

避難勧告、避難指示は従わない場合の罰則規定はありませんが、警戒区域設定では、罰則があります。

●今後の自主防災組織

町と各組織が連携し、「人や地域とつながりのある暮らし」、「生活の不安を取り除く地域社会づくり」のため、自主防災組織体制づくりにご協力ください。

●問合せ

自主防災組織や防災について、詳しくはお問合せください。
総務課基地調整室
☎6980

高齢者・障がい者などの皆さんを災害から守る

災害時要援護者支援制度を スタートしました

住民会・自主防災組織の協力をお願いします

災害時要援護者支援制度は、十勝岳の噴火災害や豪雨、地震など、災害が起きたときに手助け(支援)が必要となる方(災害時要援護者)の氏名、住所などの個人情報をもとに登録いただき、登録いただいた個人情報を地区の住民会や自主防災組織、民生委員・児童委員、地域の支援者に提供することで、地域の皆さんの協力により災害時の要援護者を支援する制度です。

●災害時要援護者とは

災害時要援護者とは、次のいずれかに該当する方のうち、災害時に地域で避難の手助け(支援)を希望する在宅の方です。

- ① 満65歳以上の方
- ② 身体障害者手帳1級又は2級の交付を受けている方
- ③ 療育手帳(A)の交付を受けている方
- ④ 精神障害者保健福祉手帳(1級)の交付を受けている方
- ⑤ 上記、①～④以外で町長が支援の必要があると認められた方

●登録申請の方法

災害時に地域の支援を希望する方は、事前に登録が必要です。

保健福祉課にある所定の「災害時要援護者登録申請書」に必要事項を記入し、保健福祉課福祉対策班へ申請してください。

満65歳以上の方は、「高齢者実態調査」を通じて登録の確認をされており、平成23年度は、既に登録に同意をいただいている方は申請の必要はありません。

登録申請の際には、支援のために必要な個人情報(住所、氏名、電話番号など)を地区住民会や自主防災組織、民生委員・児童委員、地域の支援者へ提供することに同意が必要となります。

●災害時の住民会・自主防災組織の支援協力

町では個人情報の提供に同意された方の名簿を、「災害時要援護者登録台帳」に登録し、住民会・自主防災組織の請

求により名簿(個別避難支援計画)を提供することになります。

住民会・自主防災組織では提供を受けた名簿(個別避難支援計画)に基づき、災害時、要援護者をだれが支援して、どこに避難させるかなど、個別の避難計画の作成や地域防災・高齢者マップの作成、住民会での防災・避難

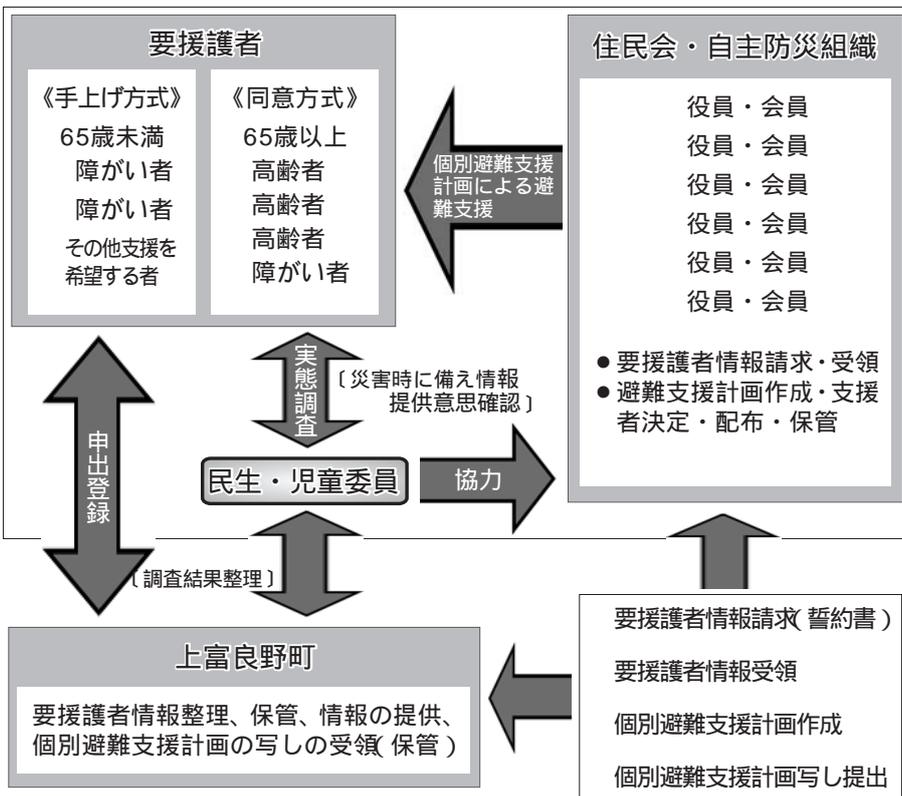
訓練の実施など、災害時に備えた地域支援体制づくりをお願いします。

問合せ

保健福祉課福祉対策班
☎6987

● 災害時要援護者避難支援フローチャート ●

【A地区】住民会・自主防災組織



1月24日
開催

住民会長懇談会

平成23年度第3回住民会長懇談会が開催されました

町長から「現在、平成24年度に向けての新しい予算編成作業を進行中である。昨年は東日本大震災、わが町においては集中豪雨に見舞われるなど、自然災害に際して改めて再認識をさせられる年になった。活火山十勝岳を抱える上富良野町として、常に住民の皆さんと共に、災害に対して備えをしていく、行政の仕組みを構築したい。さまざまな行政課題があるが、意見交換をし、さらに住みよい街づくりに反映させていきたい。」とあいさつ後、予約型乗合タクシーの全町試行運行について、十勝岳噴火総合防災訓練の実施について、その他、道路管理及び除排雪業務の外部委託、見晴台公園利活用ワークショップ開催などの説明が行われました。その後、意見交換が行われました。

説明と主な質疑応答

予約型乗合タクシーの全町試行運行について

● 昨年の12月時点で登録者数406人、運

行回数1千550回、延べ人数2千622人、1便あたり1.7人の乗車になっている。

● 全町での試行運転をもう一年続け運行時間などの問題点を確認したい。

● 多くの方に利用していただけるよう老人会や住民会で説明会をさせていただきたい。

質問 登録の受付はいつからか。

回答 3月中旬頃には案内ができる。

質問 予約していても利用者が1人だと運行しないのか。

回答 1人でも運行する。

質問 土、日、祝日の運行予定はないのか。介助で同乗する方の割引制度はないのか。

回答 路線バスに乗れない方の支援と考えており、路線バス同様、平日のみの運行を考えている。また、低額な料金なので介助者も同額と考えているが、いずれもこの1年間で要望などを聞いて検討していきたい。

十勝岳噴火総合防災訓練の実施について

● 2月23日、24日に十勝岳噴火総合防

災訓練を実施する。

● 住民会に防災士を設置いただくための講習費の補助を予定している。

意見交換の主な意見と回答

意見 昨年の集中豪雨の被害の復旧状況を教えていただきたい。

回答 農地などの復旧は昨年の秋と今年の雪が解けてからの復旧となる。道路や河川などの復旧は、ほぼ今年度中に終える予定になっている。

意見 毎年のように雨で用水路が埋まり、農地に流出する。農地に関する排水の管理について今後に向けて対処していただきたい。

回答 復旧と改良で今後発生しないよう箇所ごとに検討し、新年度予算に絡め議会や皆さんと方向性を議論したい。

意見 商工会のプレミアム商品券は、近隣自治体が実施しているのに、上富良野町ではなぜ実施しないのか。

回答 町と商工会が連携して実施する事業で、実施に向けての動きがなかった。地域の振興策として、今後の参考にさせていただきたい。

意見 道路管理と除排雪を外部委託するということだが、今まで電話での要望にすぐに対応してくれる部分もあり、今後の対応を心配している。

回答 現在の水準を低下させることは考えていない。行政が培ったノウハウを伝え、フォローしたい。住民の方々からの情報や要望、苦情などを委託業者と調整し、どのような方法で解消していくかルールを作り、円滑な移行を図りたい。

問合せ

町民生活課自治推進班

☎ 6985

会議録は、役場1階「町政情報提供コーナー」でご覧になれます。



決定

平成23年 かみふらの10大ニュース

郷土館では、毎年1月～12月に起きた上富良野町に関するニュースを選定し、皆さんの投票により選んでいます。投票の結果、平成23年の10大ニュースは、次のとおり決定しました。

〇〇〇 応募総数 260人 1,300票 〇〇〇

順位	項目	得票数
第1位	【東日本大震災に上富良野駐屯地から被災地におよそ1千人派遣】 震災の発生に伴い、駐屯地から3月13日出発の第2戦車連隊の219人をはじめ、第4特科群、第3ミサイル連隊、第103全般支援大隊などおよそ1千人の隊員が支援活動を行うため被災地に派遣された。(3月)	207票
第2位	【上富良野出身スノーボーダー吉岡さん全日本で初V】 吉岡健太郎さんは、群馬県で開かれた全日本選手権パレル大回転で初優勝を果たした。42人が出場した予選を1位で通過、上位8人の決勝トーナメントを順調に勝ち進み、決勝ではW杯メンバーを破り見事優勝した。(3月)	132票
第3位	【集中豪雨で大被害】 9月2日、3日の台風12号の影響による大雨により河川の氾濫、道路の損壊、土砂の流出、家屋の床下浸水など被害箇所二百数十箇所に及ぶ大被害となった。雨量は、昭和56年以来の200ミリ超を記録した。(9月)	129票
第4位	【上富良野駐屯地に新部隊「第2対舟艇対戦車中隊」が創設】 新部隊は第2師団の直属で定員はおよそ100人。創設は3月28日の予定であったが、東日本大震災の影響でずれ込んだ。(4月)	87票
第5位	【上富良野中学校3年新関君駅伝北海道代表に】 上富良野中学校陸上部の新関涼介君(3年)が、1月に広島県で行われた全国都道府県対抗男子駅伝のメンバーに選出され、出場した。(1月)	80票
第6位	【上富良野中学校の北村教諭が陸上400mで全国優勝】 上富良野中学校陸上部顧問の北村裕美教諭が、和歌山県で開かれた全日本マスターズ陸上競技選手権大会に初出場し、M35クラス(男子35～39歳)400mの部で優勝した。(8月)	70票
第7位	【上富良野小学校、上富良野中学校そろって北海道吹奏楽コンクール全道大会出場】 8月に旭川市民文化会館で開催された旭川予選でそろって「金賞」を受賞した。9月に札幌市で開催された全道大会において、上富良野小学校は3年ぶりに出場し「銅賞」、上富良野中学校は5年連続で「金賞」を受賞した。(9月)	68票
第8位	【自衛隊員と山岳救助警備隊員が合同で冬季遭難救助訓練】 十勝岳周辺の雪崩を想定し、上富良野駐屯地自衛隊員150人と山岳救助警備隊員5人が、合同で訓練を実施した。(1月)	56票
第9位	【島津公園カラフル遊具に変身】 町は島津公園の遊具をリニューアル、老朽化した遊具を撤去し、新たに滑り台3台を備えた大型遊具、ブランコなど7基を設置した。事業費はおよそ3千万円。(5月)	53票
第10位	【上富良野町議会議員選挙行われる】 定数14に対し15人が立候補し、トップ当選一色美秀氏、最多当選は米沢義英氏で8期連続。投票率は71.21%で低調。(8月)	47票
	【上富良野中学校陸上部の活躍さらり】 上富良野中学校陸上部男子リレーチームは、網走市で行われた全道新人大会の400mで初優勝した。同部発足以来の快挙で道北勢としても初の優勝となった。(9月)	47票



生涯学習情報

問合せ・申込み
教育振興課社会教育班
☎5511

平成24年度新入生募集 いしずえ大学・女性学級

「学ぶことで豊かな人生を」
平成24年度のいしずえ大学と女性学級の
新入生を募集します。

いしずえ大学

いしずえ大学では、「若く老いよう」を合言葉に、生き生きと心豊かに人生を送るために、様々な学習とクラブ活動、仲間との交流などの活動を行っています。

学習内容 月2回 講話 軽スポーツ、研修旅行、クラブ活動 書道、民舞、合唱、フォークダンス、歌謡
卓球、パークゴルフ、パソコン、ミニバレー、フロアカーリング、自治会活動 ボランティア、親睦交流 学習発表)

対象 満60歳以上の方
定員 30人
年会費(保険料を含む)
・60～64歳までの方 4千350円
・65歳以上の方 3千500円
申込締切 3月26日(月)

いしずえ大学 ～ 学習の様子 ～



【落語口演会】



【交流会】

女性学級

女性学級では、生涯学習の場として様々な学習と仲間との交流などの活動を行っています。

学習内容 月1回 講話、軽スポーツ、社会見学、創作活動など、運営活動 ボランティア、親睦交流、学習発表)

対象 町内在住の女性の方
定員 50人

年会費 2千200円(保険料を含む)
申込期間 2月27日(月)～3月16日(金)

● 申込方法

いしずえ大学に記入・押印のうえ提出してください。
申込みの際には、「町税等の滞納者に対する行政サービスの制限措置等に関する条例」に基づき、納税確認同意書が必要です。記入・押印のうえ、併せて提出してください。

女性学級 ～ 学習の様子 ～



道民家庭の日

毎月第3日曜日を「道民家庭の日」と定め、家族が団らんできる機会を持ち、心のふれあう明るい家庭づくり運動を推進しています。

自分の家庭を振り返り、家庭や家族のあり方、近所とのコミュニケーション、交流のあり方など家族でのふれあいを深めましょう。

また、心豊かな青少年を育てるためには、家庭、学校、地域社会、職場、行政が、それぞれ相互に綿密な連携をとりながら、青少年育成の環境づくりを図る必要がありますので、ご協力をお願いいたします。

なお、家族ふれあい協賛店・施設には優待制度もありますので、ぜひご家族でご利用ください。

問合せ
財団法人北海道青少年育成協会
☎011 231 6451

家庭教育シリーズ 第2.8.4号

「寒さに負けず元気な子を」

上富良野西小学校校長 松本 敦

今冬は、本当によく雪が降ります。周りの野原や丘はすっぽりと厚い雪に覆われました。

夏には、大勢の子どもたちでにぎわっていたグラウンドですが、冬休み中はほとんど姿を見ることがありませんでした。かつては当たり前のような風景だった「たこ揚げ」や雪山に穴を開けて作った「かまくら」。真っ白くなって雪玉をぶつけあった雪合戦など、歓声を上げながら外遊びを楽しんでいる姿を見ることが、ほとんどなくなっています。

子どもたちの体力・運動能力についての調査では、北海道の子どもたちは、握力を除いて全国平均を下回っている傾向があります。体格については全国平均を上回っていますが、男女とも肥満傾向が見られることも示されています。テレビを見る時間も全国平均と比べると大幅に上回っています。

「近くに一緒に遊ぶ子がいない。」「冬の寒さが苦手。暖かい家の中でテレビやゲームをしている方がいい。」「など理由は様々言われていますが、雪や寒さを相手にいろいろな楽しい遊びを工夫できるのが子どもたちです。それを、大人が温かく見守る姿があれば、子どもたちの元気な声ももっともっと町中に響いていくはずですよ。」

12/1 突然の災害に備えて 防災講演会開催

防災講演会が保健福祉総合センターかみんで開催され、およそ170人が訪れました。

講師に岡田弘氏(北海道大学名誉教授、環境防災総合政策研究機構理事)を招き、十勝岳泥流85周年に考える「繰り返される自然災害から何を学んできたか」と題して講演いただきました。

過去に起こった火山噴火や地震、津波などの自然災害への対応について事例を紹介し、説明を加えながら、防災、減災のためにどのような活動が有効かについて、お話しいただきました。

日頃からの備えが大切です。



12/11 和やかに 母と子のクリスマス会

母子会による母と子のクリスマス会が公民館で開催され、母子会の母と子25人が参加しました。

母子会は、昭和30年5月に設立され、現在は会員20人で年間3回の行事を開催し会員の交流を図っています。

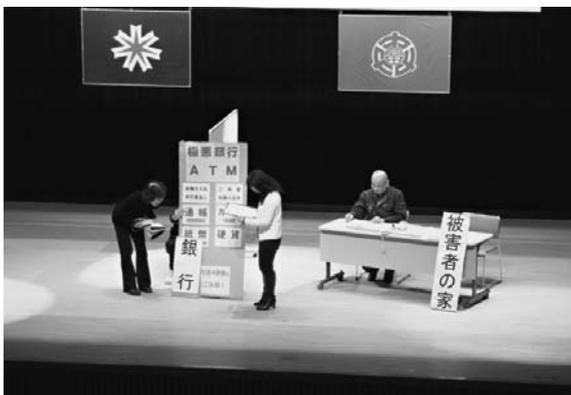
今年も、毎年恒例となっている夏の行事、海水浴ができなかったためクリスマス会を開催、ゲームやプレゼント交換などを行いました。子どもたちが参加した頭の上で色紙に描く自画像ゲームでは、描きあがった自分の絵を見て笑いが起こるなど、楽しいひと時を過ごしました。



12/16 安全で安心なまちづくりの集い

上富良野町生活安全推進協議会が主催し、安全で安心なまちづくりの集いが保健福祉総合センターかみんで行われ、およそ120人が参加しました。これは、上富良野町における交通死亡事故ゼロ日数730日(丸2年)達成を機に開催されたもので、交通事故防止啓発DVDの視聴のほか、劇団「かみふら団2」による寸劇を行い、振り込め詐欺や悪徳商法の被害に遭わないよう呼びかけました。

集いの最後には、交通死亡事故ゼロ1千日の達成や安全で安心して暮らせる地域社会の実現などを参加者全員で誓いました。



12/23 つきたておいしいね もちつき交流会

子ども育成協議会が主催し、もちつき交流会が社会教育総合センターで開催され、幼児や小学生、保護者など158人が参加しもちつきを行いました。

きねとつすを使った昔ながらのもちつきに、子どもたちは掛け声をかけながら、順番にもちつきを体験しました。つきあがったおもちは、子どもたちの手であんこもちやきな粉もちなどに丸められました。

参加者は、手や体を粉まみれにしておもちを丸め、自分たちが作った出来たてのおもちを満面の笑顔でいただけていました。



12/31 新年を迎えて 第25回北の大文字

町民の皆さんの幸せと十勝岳の安全などを祈願し、第25回北の大文字が開催されました。

会場となった日の出公園には、町内外からおよそ1千200人が来場しました。

25回目の節目となる今回は、旭川市などで活躍している森田仁さんを司会に迎え、ステージイベントなどを盛り上げました。

来場者は、会場で振る舞われた温かい飲み物などで体を温め、イントロクイズや、Nene^{ネネ}さんやダンスグループによる歌やダンスを楽しみました。

募集して集まった29人の「点火



人」は、ステージ上で、上富良野神社で採火した御神火を手にしたたいまつに灯し、5つの祈願を全員で唱和した後、大文字へ安政太鼓の演奏とともに出発しました。新年のカウントダウンに合わせて、手にした御神火で、日の出山に設置された大の文字に次々と点火しました。イベントの最後には花火が夜空を彩りました。

北の大文字は、毎年、商工会青年部などで構成する、北の大文字運営委員会が中心となり、事前の準備や、当日の進行などの運営を行っています。

今回から、戦車OBボランティアクラブ、隊友会上富良野支部の皆さんがたいまつ作りや当日の会場設営に協力参加しました。

1/8 新たな門出をお祝い 成人式

平成24年成人式が保健福祉総合センターかみんで開催され、新成人91人が出席し、多くの来賓や保護者が見守るなか、式典が行われました。

西村町議会議長から「目標を持ち一歩一歩進んでほしい」と激励の言葉をいただき、新成人を代表して喜納厚太郎さんが「私たちが歩む社会の道のりは険しいですが、強い意志と正しい心をもって日本を担う社会人となるよう努めます」と力強い答辞が述べられました。アトラクションでは、新たな門出を祝し、町の郷土芸能「安政太鼓」が演奏されました。

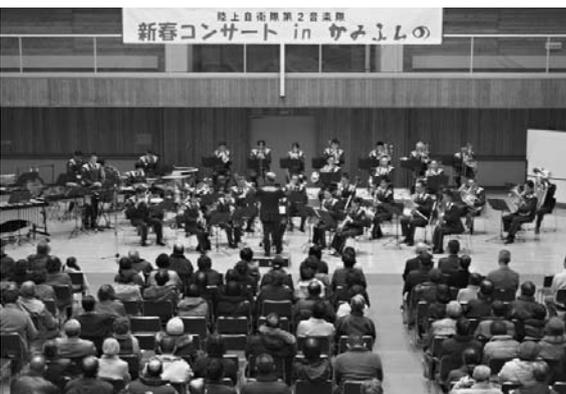


1/15 新しい年に音を響かせ 新春コンサート

富良野地方自衛隊協会上富良野支部と自衛隊上富良野駐屯地が主催し、旭川の陸上自衛隊第2音楽隊による新春コンサートが社会教育総合センターで開催され、およそ250人が訪れました。

行進曲アルセナールのほか、演歌やAKB48メドレーなど子どもから高齢者まで楽しめる様々な曲9曲とアンコールでは2曲が演奏され、来場者は息の合った演奏に聞き入っていました。

また、コンサート前には、子ども縁日、打楽器体験などのイベントが行われ子どもたちは楽しんでいました。



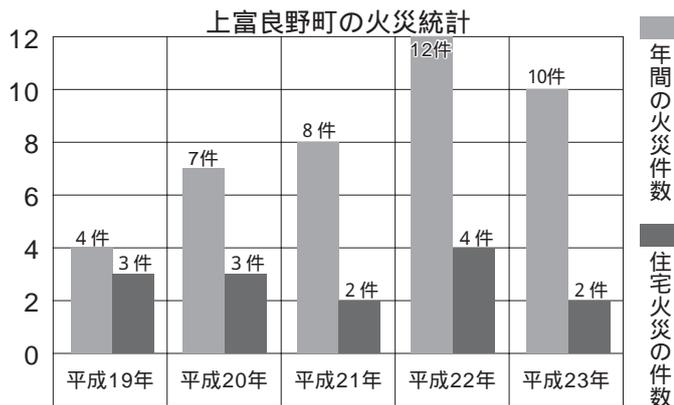
平成23年火災救急統計

平成23年の上富良野町の火災救急統計をお知らせします

▼平成23年上富良野町の火災統計

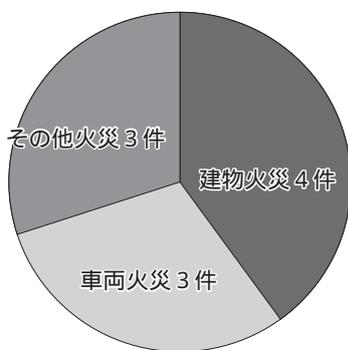
平成23年の火災10件の内訳は、建物火災4件、車両火災3件、その他火災3件でした。

上富良野町の過去5年間の火災件数は、平成22年が12件と最も多くなつて



います。平成23年は2番目に多く火災が発生しており、その内、住宅火災は2件でした。

平成23年に発生した10件の火災概要

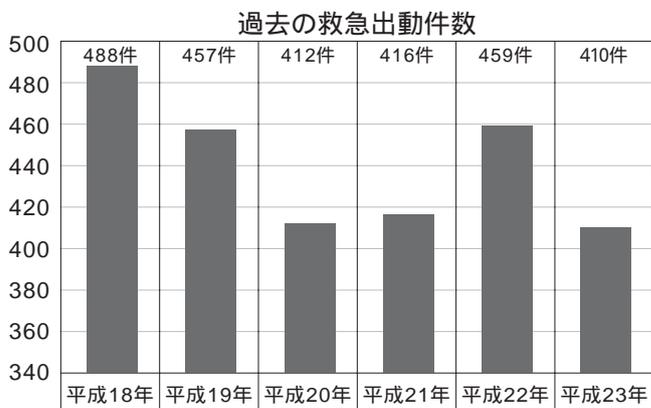


▼住宅用火災警報器の設置はお済みですか

住宅用火災警報器は、火災を未然に防いだり、早期に見つける効果があります。平成23年6月1日から全ての住宅に設置が義務付けられていますので、我が家の状況を確認して備えましょう。

▼平成23年上富良野町の救急概要・過去の救急出動件数

平成23年中の救急出動件数は40件で、前年より49件の減少となっています。この内、呼吸と心臓が停止した状態の事例が6例ありました。うち1人は病院内で心拍再開となり、発見者が早期に心臓マッサージを行い、「早い通報」、「早い応急手当」、「早い救急処置」、「早い医療処置」という救命のために重要な条件を満たしていた事例でした。



▼あなたの勇気と愛が大切な命を救います

消防署では救命に必要な応急手当の基礎を指導する「救急講習」を随時開催し普及に努めています。

近年、AED(自動体外式除細動器)による電気ショックが一般市民でも行えるようになりました。AED設置施設も増加しており、上富良野町内では学校施設などにAEDが設置されています。

「救急講習」はAEDの使用方法を含めた講習内容となっていますので、多くの方が受講されますよう、お願いします。

▼問合せ

ご不明な点などありましたら、お問合せください。

上富良野消防署
☎2119

開催します

西児童館子ども映画祭

保健福祉課子育て支援班
☎6987

西児童館事業として子ども映画祭を開催します。幼児・小学低学年向けの映画です。入場無料です。幼児は保護者同伴でお願いします。

日時 2月25日(土) 13時30分
場所 西児童館 泉栄防災センター 泉町1丁目5番15号

内容

○「よっちゃんの不思議なクレヨン」
○「サヨナラ、みどりが池」

問合せ

保健福祉課子育て支援班
☎6987

募集します

臨時介護士

ラベンダーハイツ
☎2300

ラベンダーハイツでは、臨時介護士を募集しています。

業務内容 食事や入浴など、介護を必要とする方への日常生活支援

応募資格 ヘルパー2級以上の資格を有し、週5日程度の勤務ができる方

務ができる方
申込み・問合せ

ラベンダーハイツ

☎2300

ご協力ください

カセットコンロボンベの分別

町民生活課生活環境班
☎6985

1月23日の不燃ごみ収集時にカセットコンロのボンベが原因と考えられる車両火災が発生しました。火災予防のため、次のとおり分別の徹底をお願いします。分別について詳しくは、ごみ分別の手引きをご覧ください。

カセットコンロのボンベ

☐必ず穴を開けて空き缶に

●スプレー缶など

☐必ず穴を開けて不燃ごみに

問合せ

町民生活課生活環境班
☎6985



< 1月23日の車両火災の様子 >

学用品費などの援助

就学援助制度

教育振興課学校教育班
☎6699

学用品費や給食費、修学旅行費、スキー用具などの援助をしています。

対象 小・中学生のいるご家庭

で生活保護を受けている方、それに準ずると認められる方

申込み 通学している小・中学校

問合せ

教育振興課学校教育班
☎6699

受け忘れはありませんか

予防接種

保健福祉課健康推進班
☎6987

入園、入学を心待ちにしているお子さんの予防接種はお済みですか。受け忘れていた予防接種がないか、母子手帳で確認し、受け忘れがある場合は接種しましょう。

日程

○三種混合、麻しん風しん混合

2月21日(火)、3月6日

(火)、27日(火)

○ポリオ

2月14日(火)、3月13日(火)
問合せ

保健福祉課健康推進班

☎6987

町職員人事

新規採用

総務課総務班
☎6400

町職員人事 2月1日付(お)お知らせします。

新規採用

▽町立病院看護師

笹谷 麻衣子

訂正

北方四島の表記

町民生活課自治推進班
☎6985

広報かみふらの1月25日号掲載の北方四島の表記に誤りがありましたので、左記のとおり訂正してお詫びいたします。



北方四島(色丹島、択捉島、国後島、歯舞群島)

特許 SODリキッド工法
健康住宅 **森呼吸の家**

お金には代えられない健康を第一に考えた家づくり。家族の喜ぶ健康で快適な空間を常に考え提供します。

新築・リフォーム・アパート・借家・賃貸

北菱ハウス ☎0167-23-2511

■ お問い合わせはお気軽にお電話下さい

本社 富良野市花木町1番17号 23-3311 ホームページもご覧下さい
支店 上富良野町大町2丁目1番14号 45-9083 URL <http://www.e-hokuryo.com>

生きがい対策の
高齢者事業団 会員募集

おおむね60才から75才 元気で働ける人

作業内容 公園の除草作業を主体に剪定・草刈り・除雪・大工・土木・農作業の派遣など

募集締め切り 3月末

所在地 上富良野町大町3丁目2番22号
子どもセンター内 電話 45-5134

わが家の アイドル



はざわなるみちゃん
羽澤 成未
(3歳4か月)

♡幾生さん・和美さんの子♡



こもりゆいとたくとくん
小森 結登 拓仁
(2歳11か月・0歳7か月)

♡健二さん・奈保子さんの子♡

おおむね2歳から就学前のお子さんを募集しています

町民生活課自治推進班
☎6985

みんなの伝言板

富良野広域情報

富良野市「冬の富良野を味わう『ホワイトグルメプラン』」

冬・雪・白をテーマにふらのチーズや牛乳、野菜などをたっぷり使った、期間限定の特別メニューが富良野地域28店舗から提供されています。

期間 3月31日まで
詳細はインターネットで「富良野グリーンフラッグ」と検索。もしくは観光案内所にチラシを置いています。

問合せ 富良野市商工観光課 ☎2312

占冠村「サクラ咲け！五角箸！」

受験生に縁起が良いとされている合格箸(五角箸)。受験生の応援にご家族でのご使用はいかがでしょう。問合せ NPO法人占冠・村づくり観光協会 ☎8010

南富良野町「かなやま湖冬の風物詩氷上ワカサギ釣り」

かなやま湖のワカサギ釣りシーズンが到来しました。寒さが厳しくなるこれからが本番です。釣りをされる方は氷の厚さや周辺の状況を確認してください。

問合せ 南富良野町産業課 商工観光係 ☎2178

中富良野町「なかふらの地酒まつり」

地元の原料を使用した純米酒・吟醸酒やワイン、ビールなどの飲み物のほか、手作りのおいしい料理も取りそろえてお待ちしております！歌謡ショー・抽選会などのイベントもお楽しみください。

日時 2月24日(金) 18時
場所 農村環境改善センター
チケット 1,500円

料理付当日券あります。
問合せ J A ふうらの中富良野支所営農課 ☎2213

人めぐり逢



せと のりこ
瀬戸 範子さん

昭和18年生まれ
東4線北18号

先月号の野原さんからめぐって、瀬戸さんにお逢いしました。

『野原さんとは、一緒に旅行に行ったり夫婦でお付き合いしています。赤十字奉仕団に籍を置いて27年になります。ふれあいサロンや独居老人の食事会、ラベンダーハイツなどでのボランティア活動をしています。夏は自分の仕事があるので、冬に参加しています。皇居の勤労奉仕にも3回参加させていただき、草刈りや落ち葉拾いなどの清掃活動をし、貴重な体験をすることができました。3回目の奉仕活動では、私たちの前を天皇陛下ご自身が運転された車が通り、ご自身が運転されることに驚きました。この会も30周年を迎え今年1月に記念式典を行いました。2年ほど前から夢中になっているのが数字をルールにそってマス目に埋めていく数字パズル「ナンプレ」です。時間を見つけ楽しみながら頭の体操をしています。』

かみふっこギャラリー

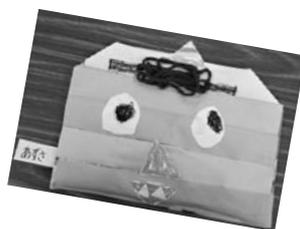
— 中央保育所 —



おおばやし しゅん
大林 駿 くん
(平成17年生まれ)



『レインボー鬼』



『レインボー鬼』



こや あずさ
古屋 梓紗 ちゃん
(平成18年生まれ)

すぐできるエコ活動

限られたエネルギーを守る ～サイエンスカフェ～

町が北海道大学サステナビリティ学教育研究センターと富良野沿線自治体と協働で地域ネットワークを組むことを昨年6月の広報誌でご紹介いたしました。その活動の第1段として、昨年12月26日に「キッズ・カフェ in かみふらの」を開催しました。

カフェと名を付けていますので、ジュースなどを飲みながら、気軽に科学の勉強をしようというものですが、午前と午後の部に分けて実施しました。

講師には北海道大学の先生方をお願いし、午前の部は、ふらの・ものがたり文化の会の子どもたちを対象に「電気について学ぶ」と題して、電流・電圧・抵抗の関係や電池の仕組みなど電気の大切さについて理解を深め、午後の部は、小学4年生から6年生の子どもたちで「ロウソクから考える電気の大切さ」と題し、ろうそく作り実験から人類の歴史の中でほとんどの期間を電気ではなく、ろうそくの灯りで暮らしてきたことを勉強し、枯渇が危くされる化石燃料に依存する電気の危うさと大切さについて理解を深めました。

町が行う環境学習は、今年もいろいろなテーマを設定し進めていきますので、興味のある方は、ぜひご参加ください。

今回は、水車についてお知らせします。

問合せ 町民生活課生活環境班 ☎6985



食育の推進

— 栄養士からのメッセージ —

『大根のステーキ』

野菜の目標摂取量は1日350g以上です。国民健康・栄養調査では、成人の1日の野菜摂取量は295.3gとやや少ないのが現状です。メタボリックシンドロームや生活習慣病の予防と改善のため、野菜をしっかりとりましょう。

●材料(2人分)

大根 120g(4切れ)
小ねぎ 適量
バター 8g
しょうゆ 大さじ1



●作り方

- ①大根は皮をむいて、厚さ1～2cmの輪切りにし、表面に格子状の浅い切り込みを入れる。
- ②大根を皿に乗せ、ふわっとラップをかけて電子レンジでおよそ4分加熱する。
- ③フライパンを加熱してバターを溶かし、中強火で大根を両面焼く。半透明になったらしょうゆを入れ、色がつくまで焼く。
- ④小口切りした小ねぎを大根の上に載せる。

●栄養価

エネルギー 48kcal 食物繊維 0.9g 塩分 1.4g

●メニューのポイント

電子レンジで加熱することで、栄養素を逃さずに下ゆでの代わりにすることができます。

大根にはビタミンC(風邪予防)やカリウム(高血圧予防)、イソチオシアネート(がん予防)が含まれています。

問合せ 中央保育所 ☎2074

ラジオゾンデ(「ラジオ(無線)」と「ゾンデ(探索する)」の合成語)による観測は、“無線を利用して探るもの”という意味があり、気圧、気温、湿度などの各センサーと、観測データを送信する無線発信機をゴム気球につけて上空へ飛揚させ、高度およそ30km付近までの大気の状態を観測します。

また、気球の位置を追跡することで、上空の風を観測します。

この観測は、全国16か所の気象官署(道内では札幌、釧路、稚内)や昭和基地(南極)、海洋気象観測船で通常1日2回(9時・21時)実施され、観測データは天気予報や防災業務、気候変動・地球環境の監視、航空機の運航管理などに利用されます。

落下時の安全対策

観測を終えたラジオゾンデは、パラシュートによってゆっくりと降下させ、建物などにぶつかっても危険・被害を最小限にとどめるようにしています。

気象庁のラジオゾンデや気球を発見した場合

気象庁で使用している気象観測器には、「気象庁」と書いてあり、対処方法・連絡先などを記入したものが、はってあります。さらに、飛揚した気象官署と連絡先も記載しています。「気象庁」と書いてあるものは、お手数ですが気象観測器のラベルに表示されている連絡先へご連絡ください。

旭川地方気象台ホームページ <http://www.jma-net.go.jp/asahikawa/>
 問合せ 旭川地方気象台総務課 ☎0166-7101

東日本大震災への義援金合計

(1月19日現在)

12,440,168円

上富良野町では、東日本大震災の被災者の皆様に支援するため、義援金の取り組みを行っています。

多くの町民の皆様のご支援とご協力を引き続きお願いします。

内 訳	○日本赤十字上富良野分区 (町からの300万円含む)	5,232,165 円
	○共同募金送付分 (募金箱、社会福祉協議会受付分)	7,208,003 円

たくさんの善意
ありがとうございました

町へ

- 芳賀菊子さん 5万円
- 菅野チエ子さん 5万円
- 國枝孝行さん(神奈川県相模原市) 3万円
- 野原武夫さん(東京都江東区) 50万円

町立病院へ

- 日向トミ子さん 2万円
- 原田信子さん 5万円
- 吉武敏彦さん 10万円
- 仙場富美子さん 15万円
- 赤間善昭さん 5万円
- 菅野チエ子さん 5万円

ラベンダーハイツへ

- 東中中学校 もち米10kg
- コスモスグループ ティッシュペーパー300箱
- 小島隆士さん(神奈川県横浜市) 精白米60kg
- 道新販売所旭川近郊会(当麻町) 車椅子1台

社会福祉協議会へ

- 高橋美代子さん 3,233円
- 小川邦夫さん 3万円
- 荻野静子さん 3万円
- 齋藤多恵子さん 3万円
- 武内農夫男さん 3万円
- 野原祥子さん 3万円
- 笹木恵美子さん 5万円
- 伊藤謙一さん 5万円
- 村上満さん 5万円
- 桑田恵美子さん 10万円
- 多田弾薬支処隊員一同 27,750円
- 旭川信用金庫ASK上富良野会 7万円
- 上富良野町法人会 パソコン4台
- 北海道コカ・コーラボトリング(富良野市) コカ・コーラ製品510本

発行 / 上富良野町
 編集 / 町民生活課自治推進班
 印刷 / (株)上富印刷

ご意見・ご感想をお寄せください

☎071 0596

北海道空知郡上富良野町
 大町2丁目2番11号

☎0167-6985 FAX0167-5362

<http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp>
jichi@town.kamifurano.lg.jp

人のうごき

()は前月比

	12月31日現在	1月31日現在
人口	11,795人(-7)	11,788人(-7)
男	5,957人(-2)	5,951人(-6)
女	5,838人(-5)	5,837人(-1)
世帯	5,313世帯(+2)	5,313世帯(±0)



1月31日 雪像作成作業